

# 平成24年3月期 第1四半期 決算説明資料

## <目次>

P. 1~3	決算概要 P/L・B/S
P. 4~7	地域別・品目別 受注高
P. 8~11	地域別・品目別 売上高
P. 12	受注残高の推移
P. 13	製品在庫の推移
P. 14	営業損益の変動要因
P. 15~25	地域別 受注高・売上高 詳細

## 株式会社 小森コーポレーション

※当資料に含まれている業績予想等は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

- ▶ 受注高、売上高とも、欧州の設備投資の回復の遅れや、その他地域のファイナンス問題および円高の影響により前期を下回る
- ▶ 利益は売上高の減少に加え、円高による利益の押し下げで赤字幅が拡大

(単位: 億円)

	2012/3 1Q実績	2011/3 1Q実績	差額	前年 同期比	2012/3 計画		
					上期	下期	通期
受注高	208	236	△28	88%	430	420	850
売上高	134	164	△30	82%	382	458	840
営業利益	△20	△10	△10	-	△12	18	6
経常利益	△20	△20	0	-	△13	18	5
四半期純利益	△20	△18	△1	-	△12	15	3
平均レート (円)	US\$	81.71	91.73	/	83.00	83.00	83.00
	EUR	118.11	117.35		120.00	120.00	120.00
期末レート (円)	US\$	80.73	88.48		83.00	83.00	83.00
	EUR	116.84	107.81		120.00	120.00	120.00

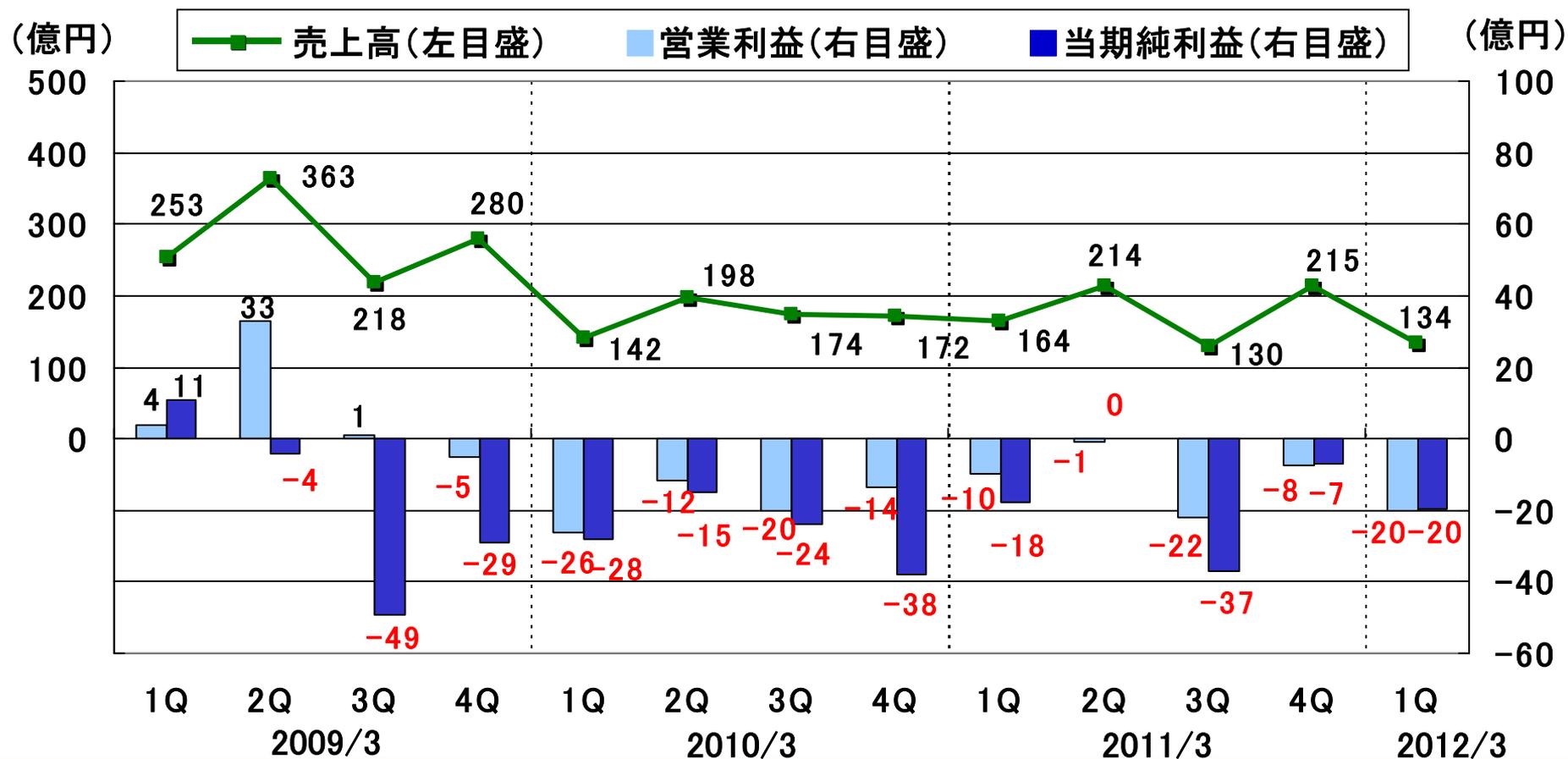
▶ 総資産が12億円減少

(単位:億円)

	当1Q末 2011.6.30	前期末 2011.3.31	差額
現金・預金	496	498	△2
売上債権	150	183	△33
棚卸資産	322	297	25
うち製品	165	150	15
有形固定資産	368	373	△5
無形固定資産	22	22	△0
仕入債務	149	145	4
短期借入金	21	18	3
長期借入金	78	79	△1
株主資本	1,222	1,248	△26
総資産	1,600	1,612	△12

# 売上高・営業利益・当期純利益

▶ 売上高の増加に伴い利益は回復基調にあったが、  
 今期1Qは売上高の減少により利益も減少



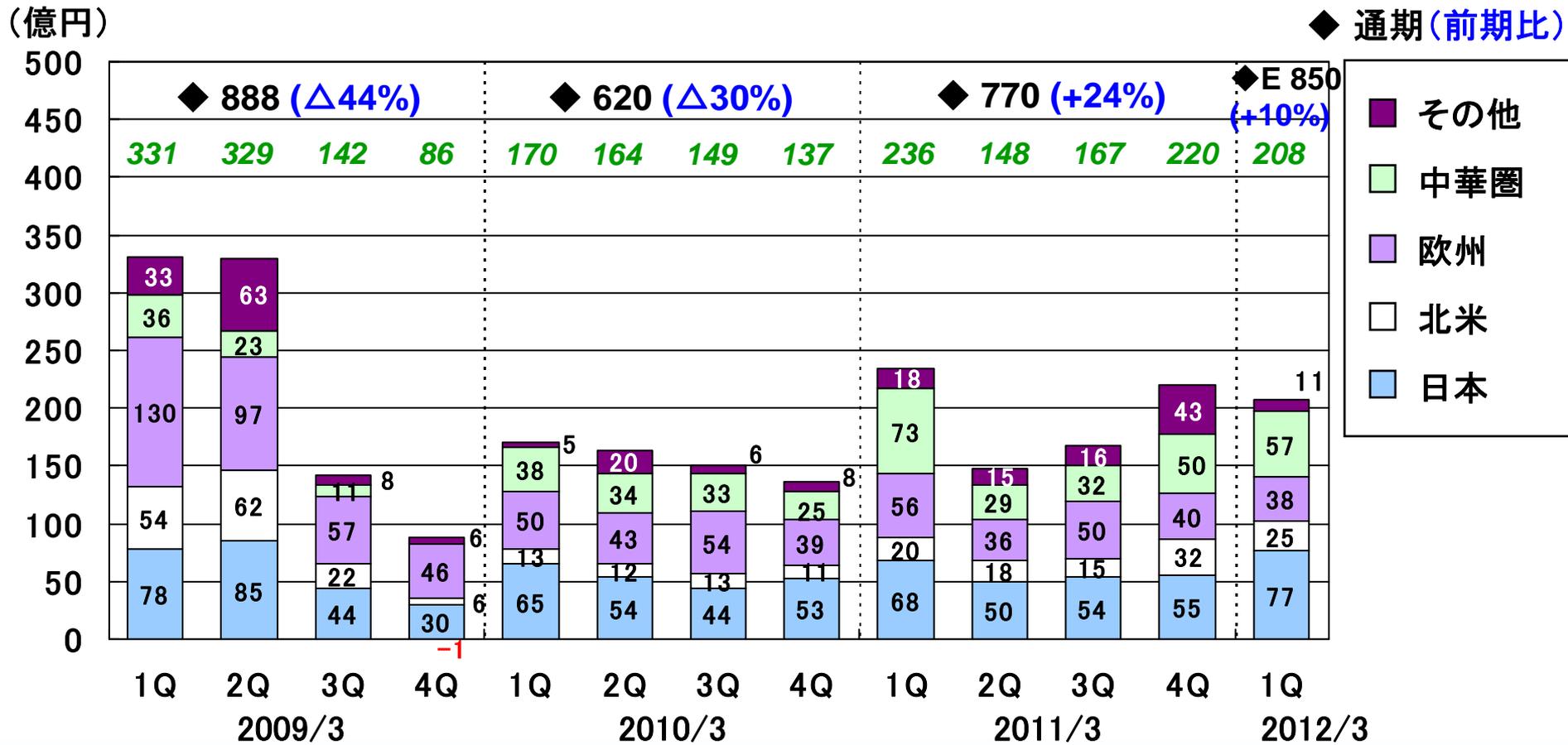
- ▶ 国内、北米が好調な反面、欧州、その他地域が低調
- ▶ 中国の減少は前期1Qのイレギュラーな受注高との比較によるもので、今期1Qの受注は好景気を背景に堅調に推移

(単位:億円)

	2012/3 1Q実績	2011/3 1Q実績	前年 同期比	2012/3 計画			
				上期	下期	通期	
日本	77	68	113%	129	143	272	
北米	25	20	122%	37	51	88	
	(百万ドル)	(30)	(22)	(137%)	(45)	(61)	(106)
欧州	38	56	68%	110	99	209	
	(百万ユーロ)	(32)	(47)	(67%)	(92)	(83)	(174)
中華圏*	57	73	78%	96	71	167	
	中国本土	47	61	77%	66	49	115
	香港	6	9	75%	21	15	35
	台湾	4	4	94%	9	8	17
その他地域	11	18	62%	58	56	114	
合計	208	236	88%	430	420	850	

\* 中華圏: 中国本土 + 香港 + 台湾

▶ 前期4Qからの減少は今期1Qでは証券印刷機の受注がなかったことによる  
(前期4Qでは証券印刷機34億円)

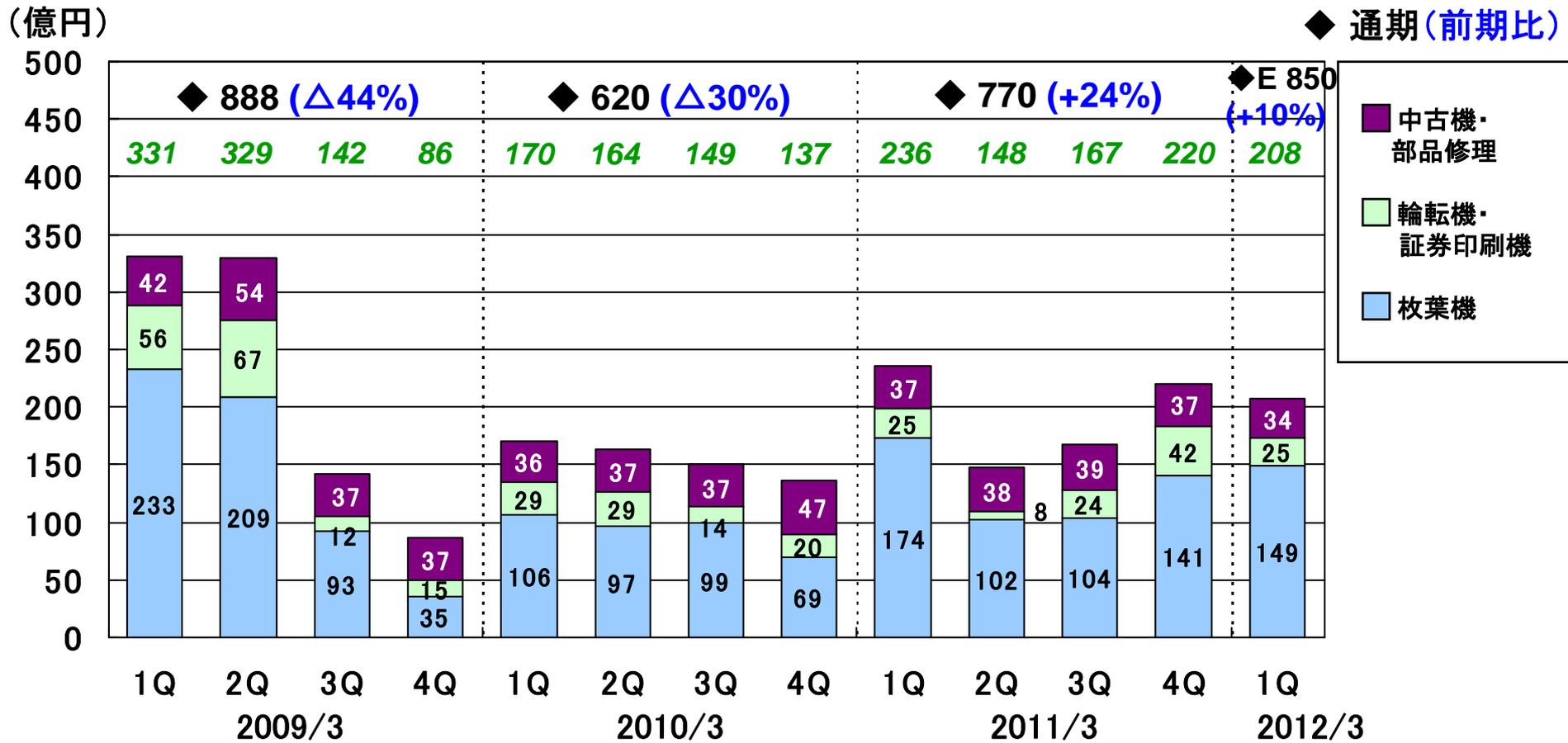


▶ 輪転機は日本で更新需要が集中

(単位:億円)

	2012/3 1Q実績	2011/3 1Q実績	前期 同期比	2012/3 計画		
				上期	下期	通期
枚葉機	149	174	85%	281	268	550
うち国内	39	39	102%	78	82	160
輪転機・証券印刷機	25	25	99%	76	73	150
うち国内	22	12	191%	17	21	38
中古機・部品修理	34	37	94%	72	78	151
うち国内	15	18	85%	34	40	74
合計	208	236	88%	430	420	850

▶ 前期4Qからの減少は今期1Qでは証券印刷機の受注がなかったことによる  
(前期4Qでは証券印刷機34億円)



- ▶ 欧州およびその他地域の減少分を日本および北米の増加分でカバーできず
- ▶ 前期のその他地域の証券印刷機(約20億円)の売上が今期なかった

(単位:億円)

	2012/3 1Q実績	2011/3 1Q実績	前年 同期比	2012/3 計画			
				上期	下期	通期	
日本	41	30	134%	133	123	256	
北米	15	13	113%	43	53	96	
	(百万ドル)	(18)	(14)	(126%)	(52)	(64)	(116)
欧州	30	43	70%	76	130	206	
	(百万ユーロ)	(25)	(36)	(69%)	(63)	(108)	(172)
中華圏*	33	40	82%	92	81	173	
	中国本土	24	33	73%	67	54	121
	香港	5	3	181%	16	18	34
	台湾	4	4	90%	8	9	18
その他地域	15	38	41%	38	71	109	
合計	134	164	82%	382	458	840	

\* 中華圏: 中国本土 + 香港 + 台湾

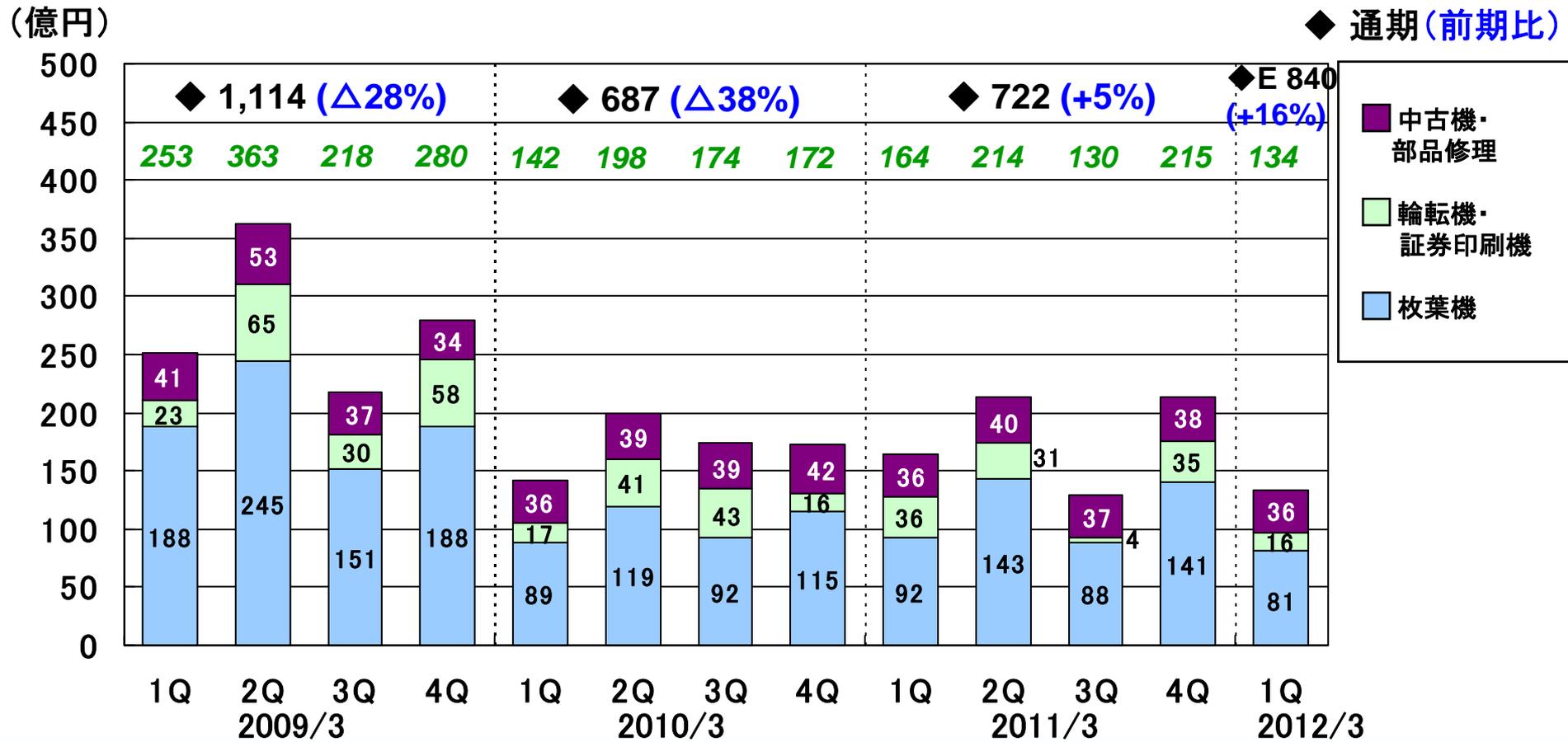


- ▶ 中国の金融引き締めの影響によるファイナンスの遅れと  
 輪転機・証券印刷機の売上が今期なかったことにより減少

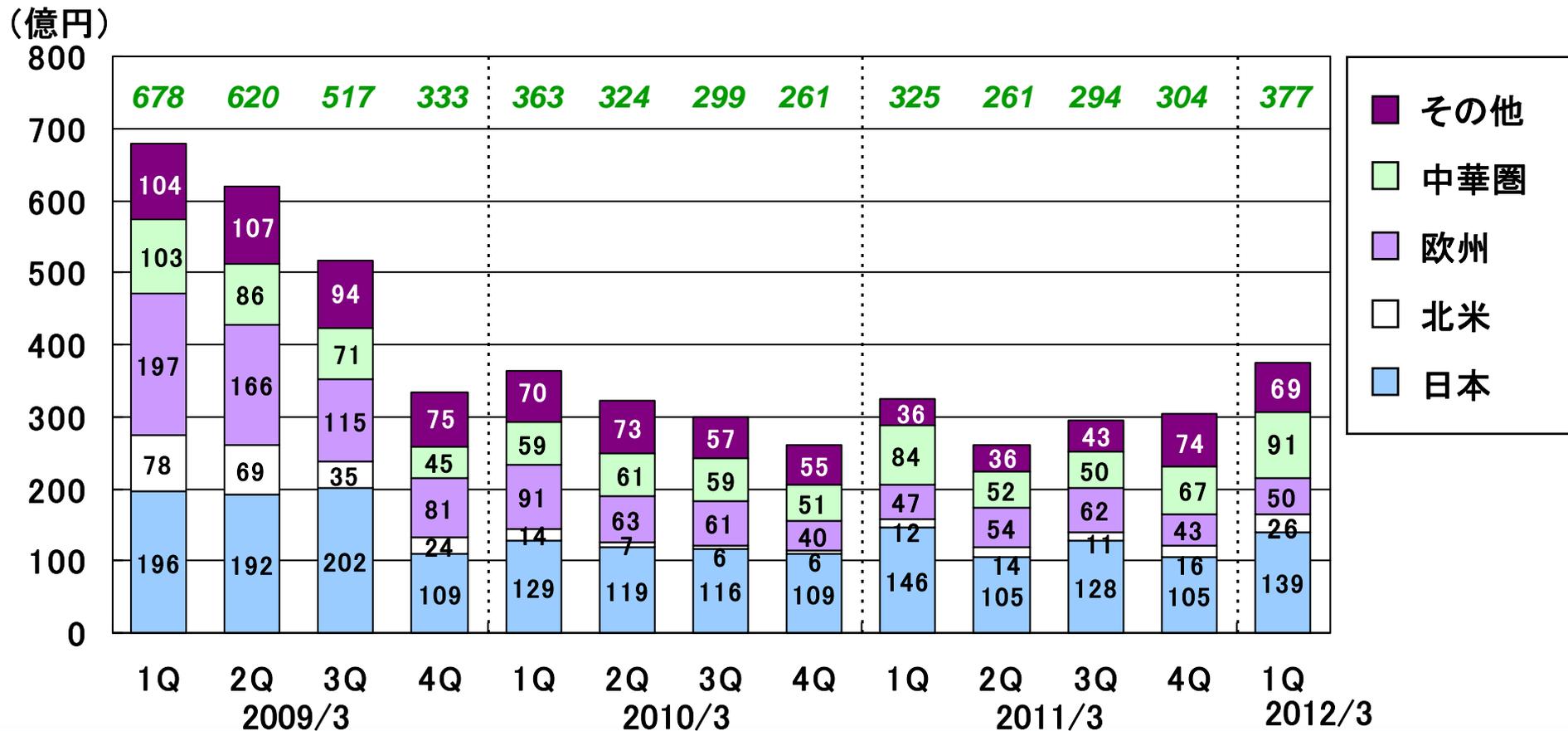
(単位: 億円)

	2012/3 1Q実績	2011/3 1Q実績	前期 同期比	2012/3 計画		
				上期	下期	通期
枚葉機	81	92	88%	260	282	542
うち国内	13	15	90%	70	74	144
輪転機・証券印刷機	16	36	46%	49	98	147
うち国内	12	0	-	29	9	38
中古機・部品修理	36	36	100%	72	78	151
うち国内	15	16	97%	34	40	74
合計	134	164	82%	382	458	840

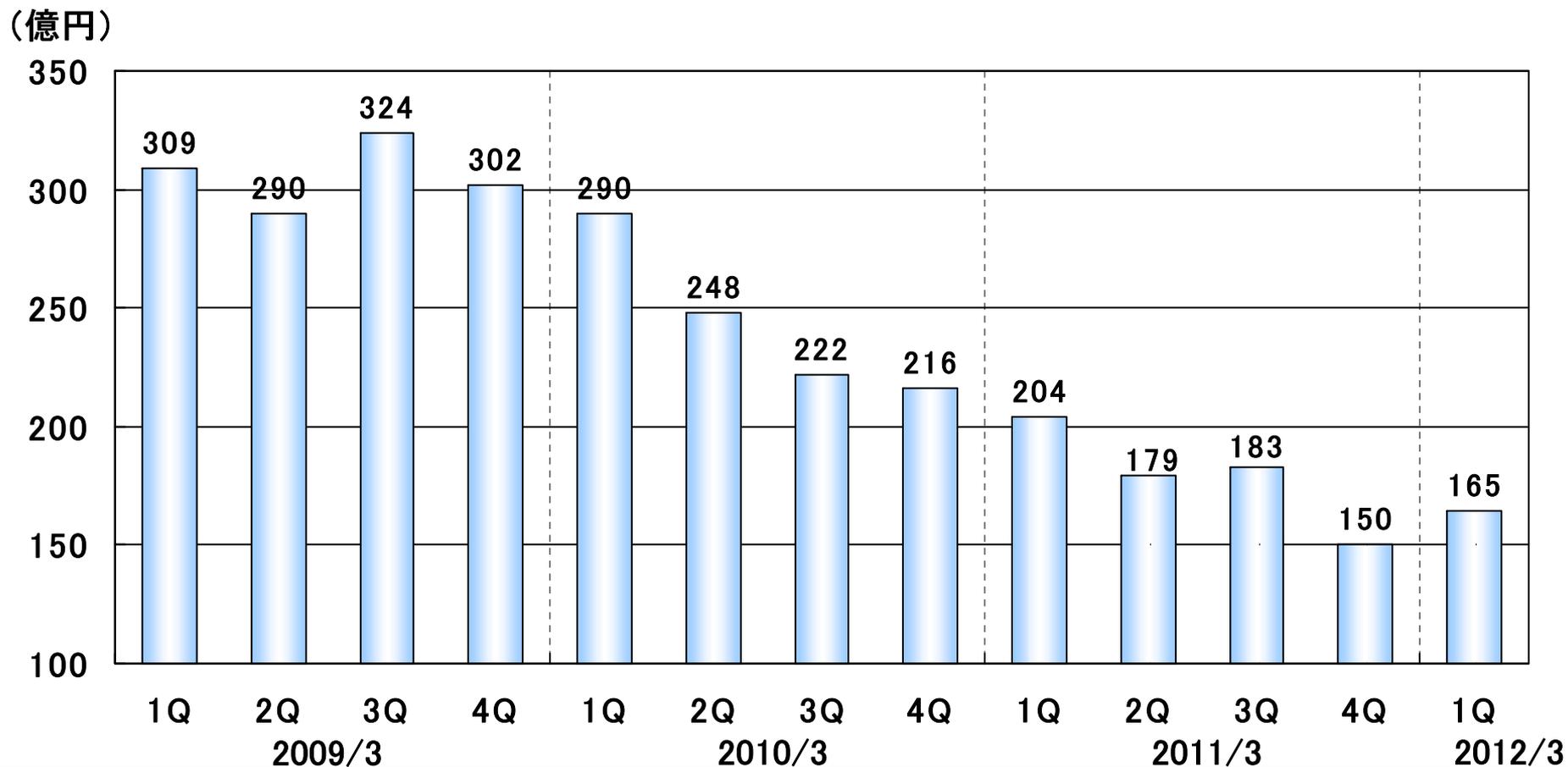
▶ 中国の金融引き締めの影響によるファイナンスの遅れと  
その他地域の証券印刷機の売上が今期なかったことにより減少



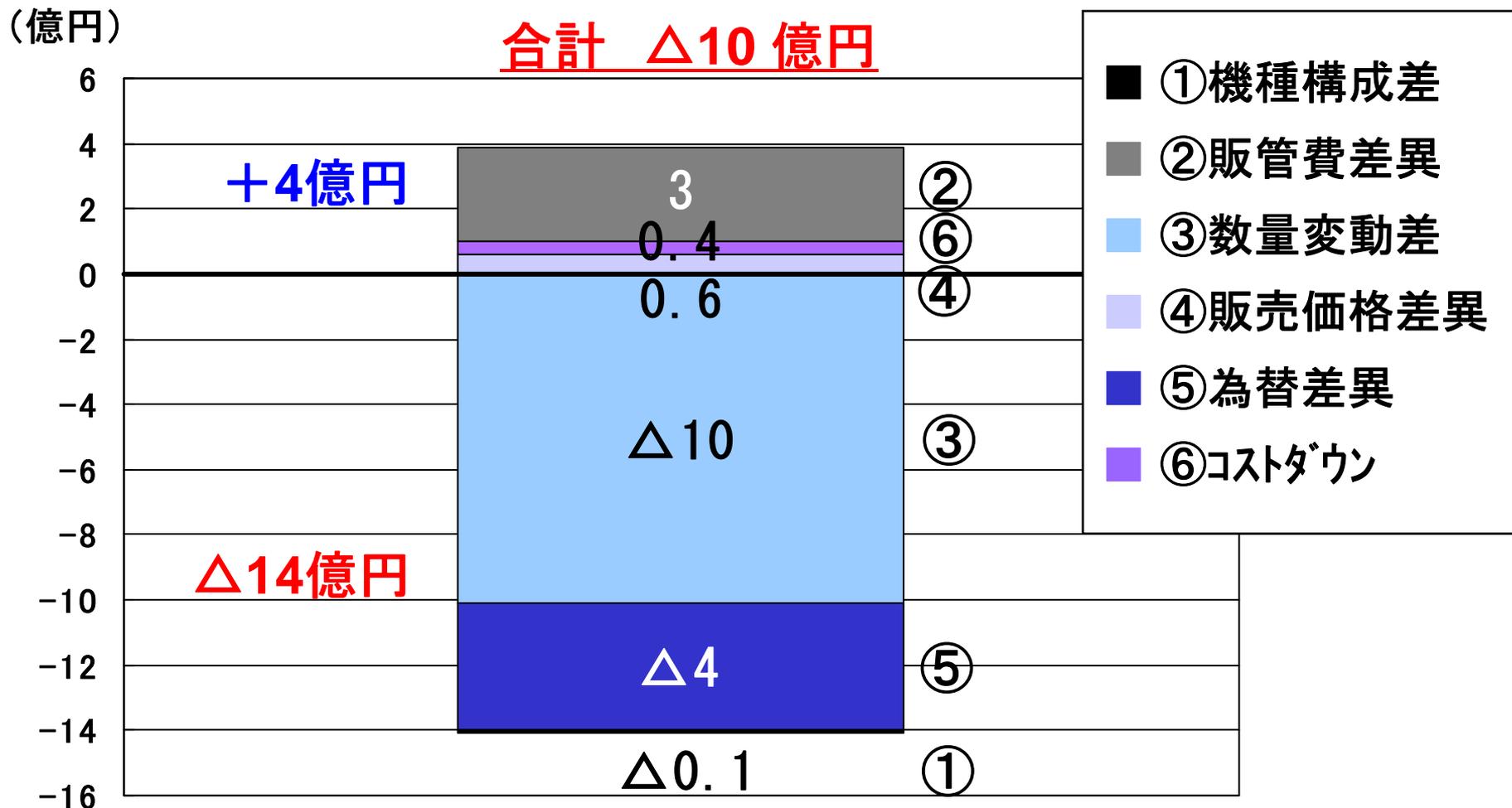
▶ 受注が堅調により、受注残が増加



▶ 北米および欧州在庫中心に在庫削減を推進し、ほぼ適正水準で推移



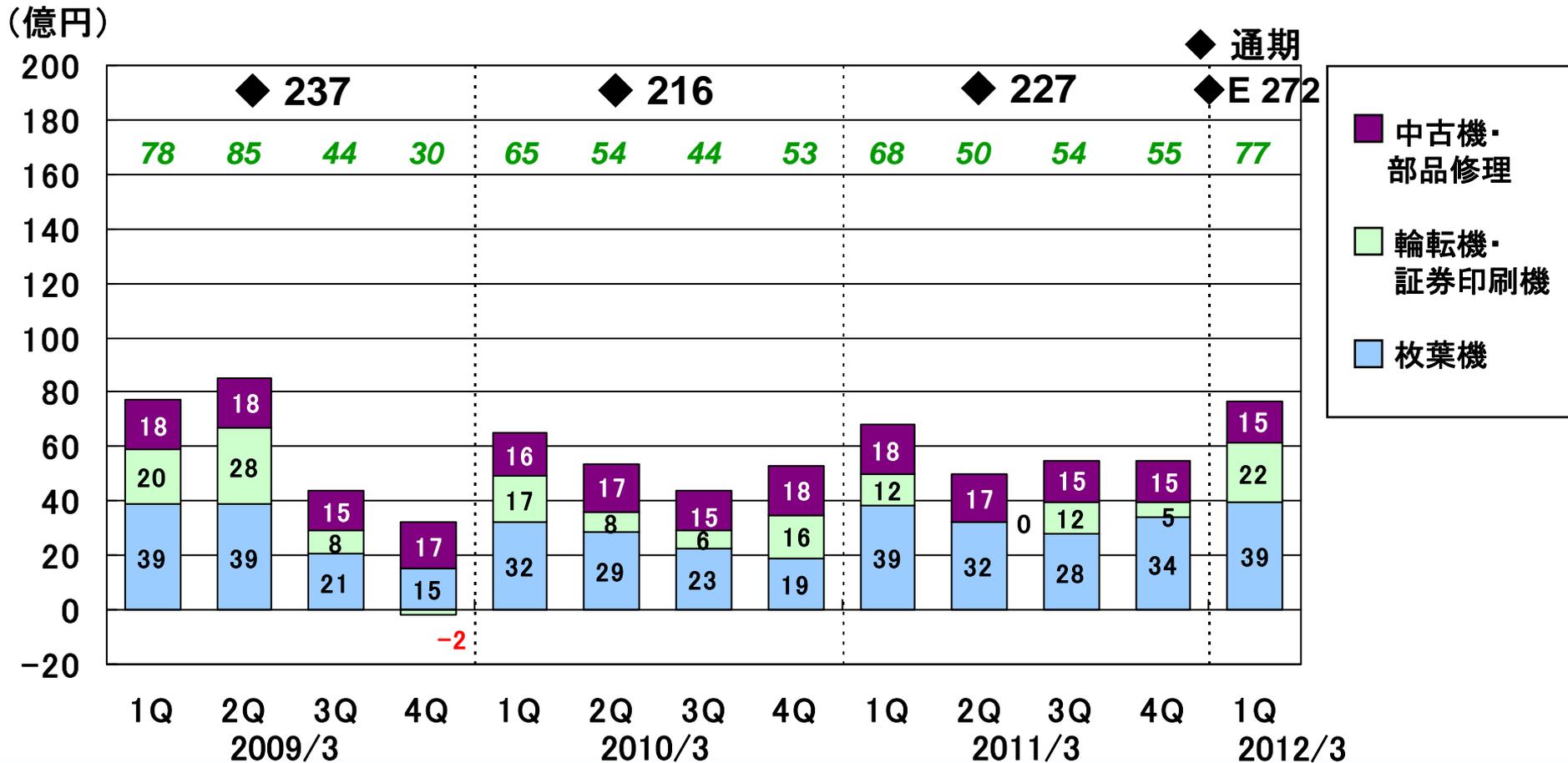
# 営業損益の変動要因(対前期比)



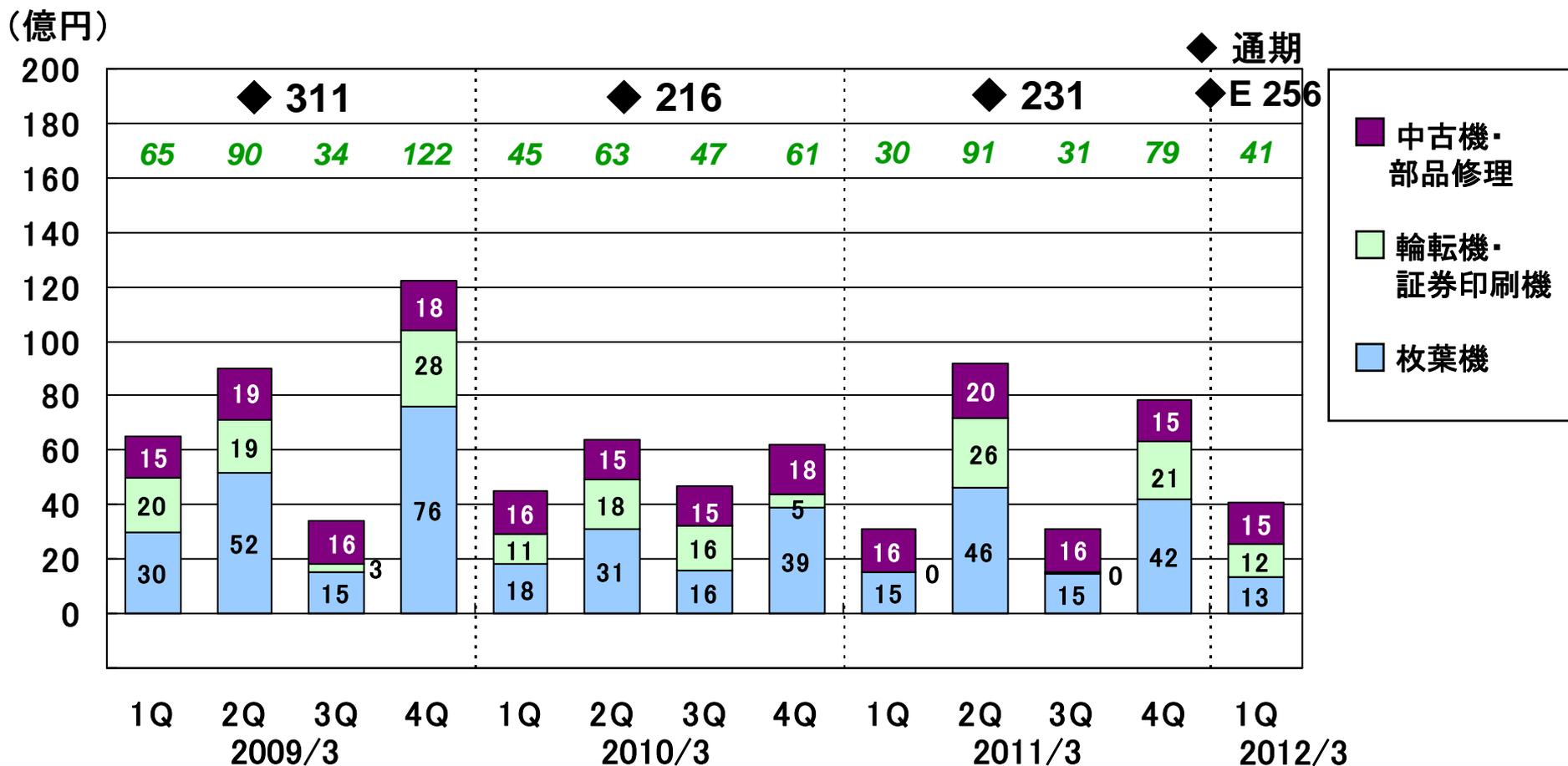
# 参考資料

(地域別受注高・売上高 詳細)

- ▶ 輪転機の受注により今期1Qは増加
- ▶ 枚葉機もH-UV搭載機を中心に好調に推移

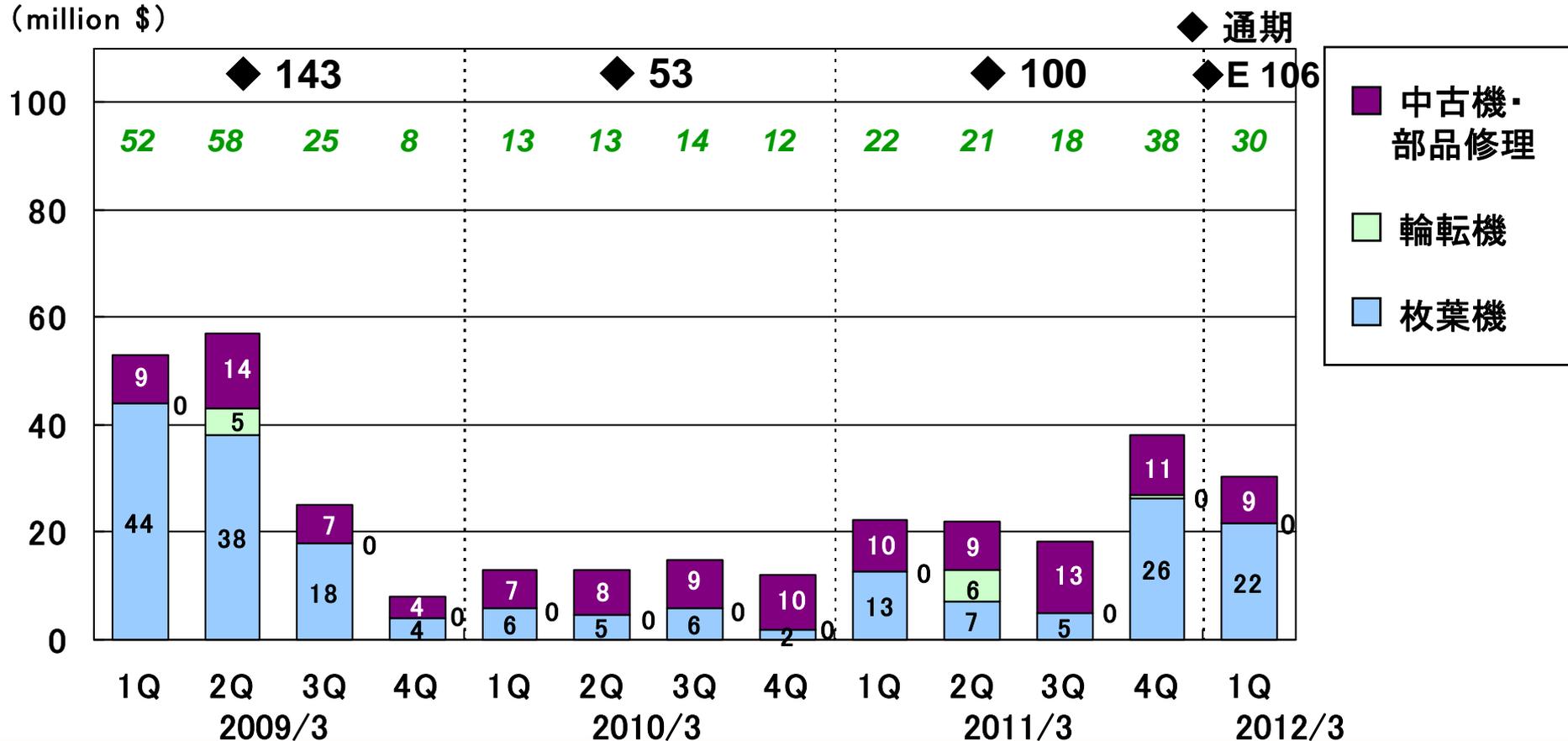


▶ 輪転機および証券印刷機の売上があったことにより前期比では増加



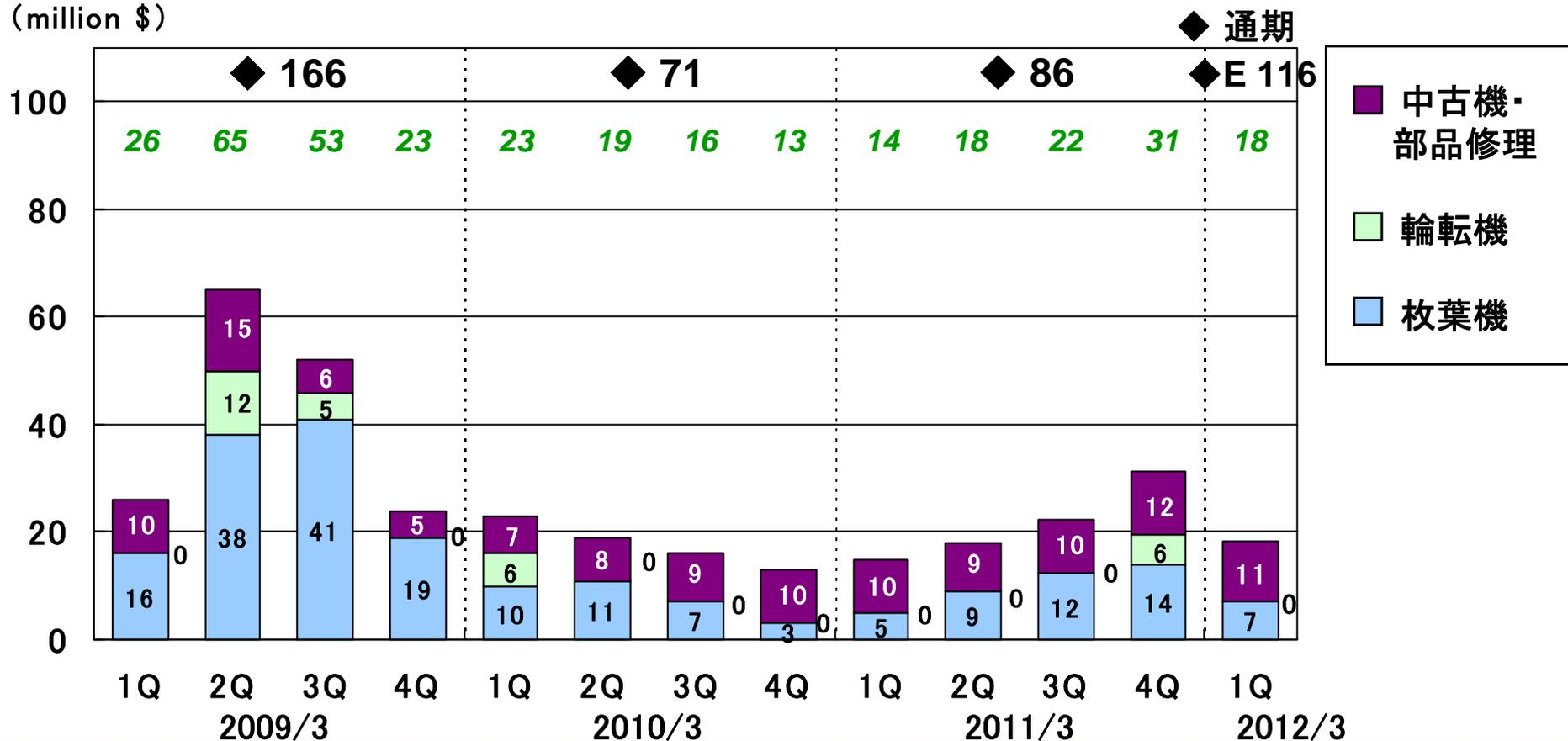
- ▶ 印刷機械の需要は緩やかに回復傾向にある
- ▶ H-UVの内覧会効果もあり、商談が増加

(million \$)



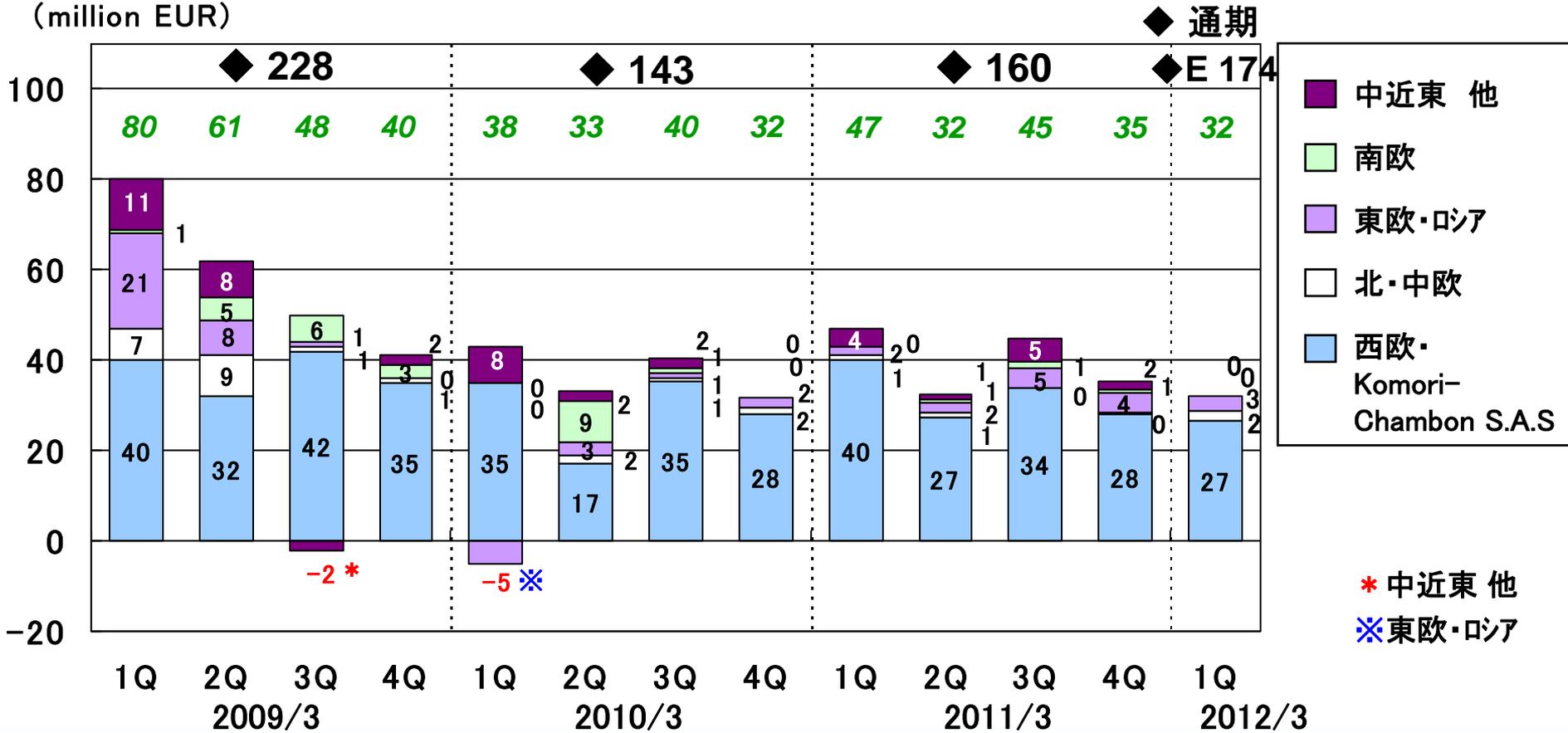
▶ 前期末の売上の集中による反動により今期1Qは減少するも、前期比では内覧会効果もあり微増

(million \$)



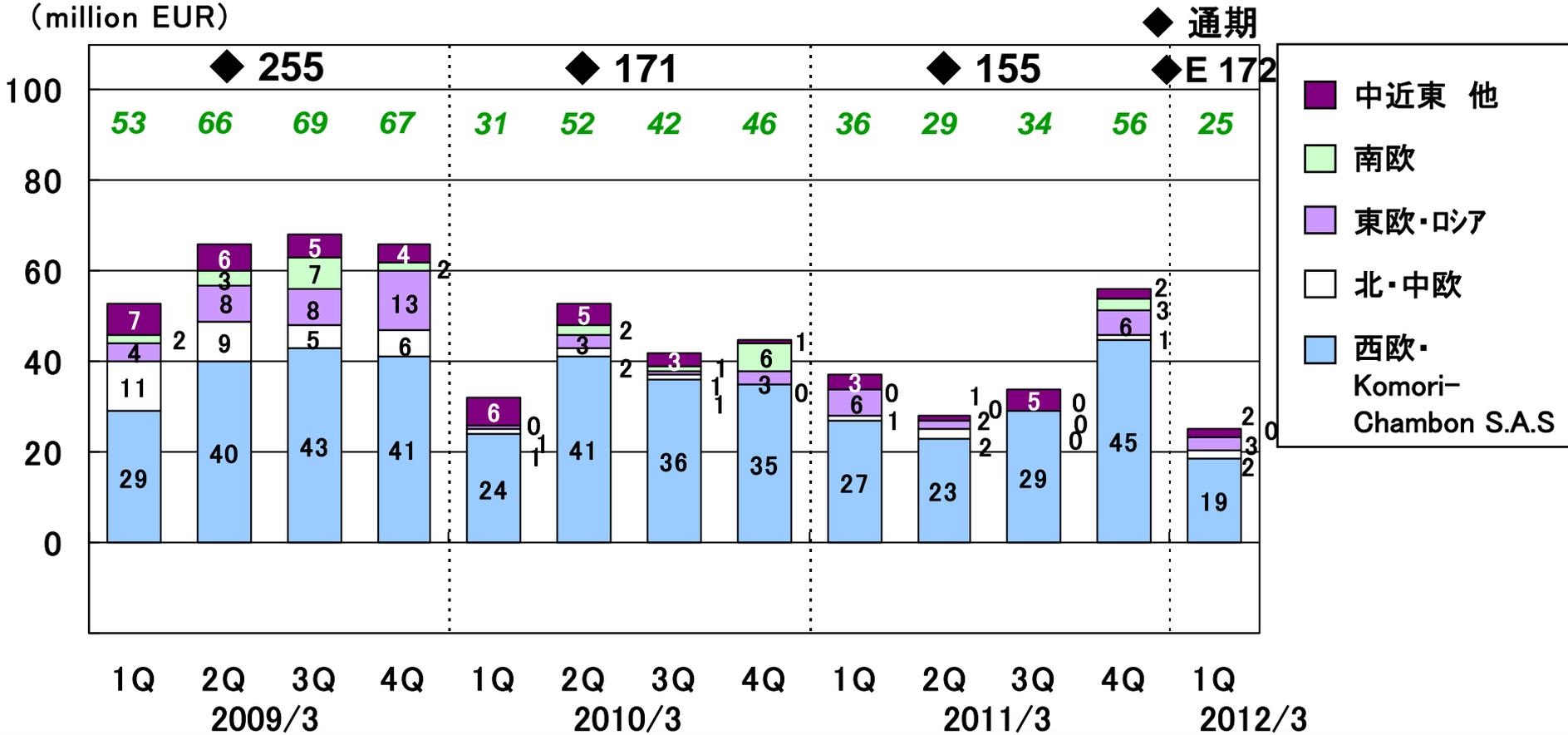
- ▶ 欧州全般に印刷産業の設備投資意欲の回復は鈍く、受注高は横ばいで推移
- ▶ 西欧地域を中心にH-UVへの関心は高く、商談が増加

(million EUR)



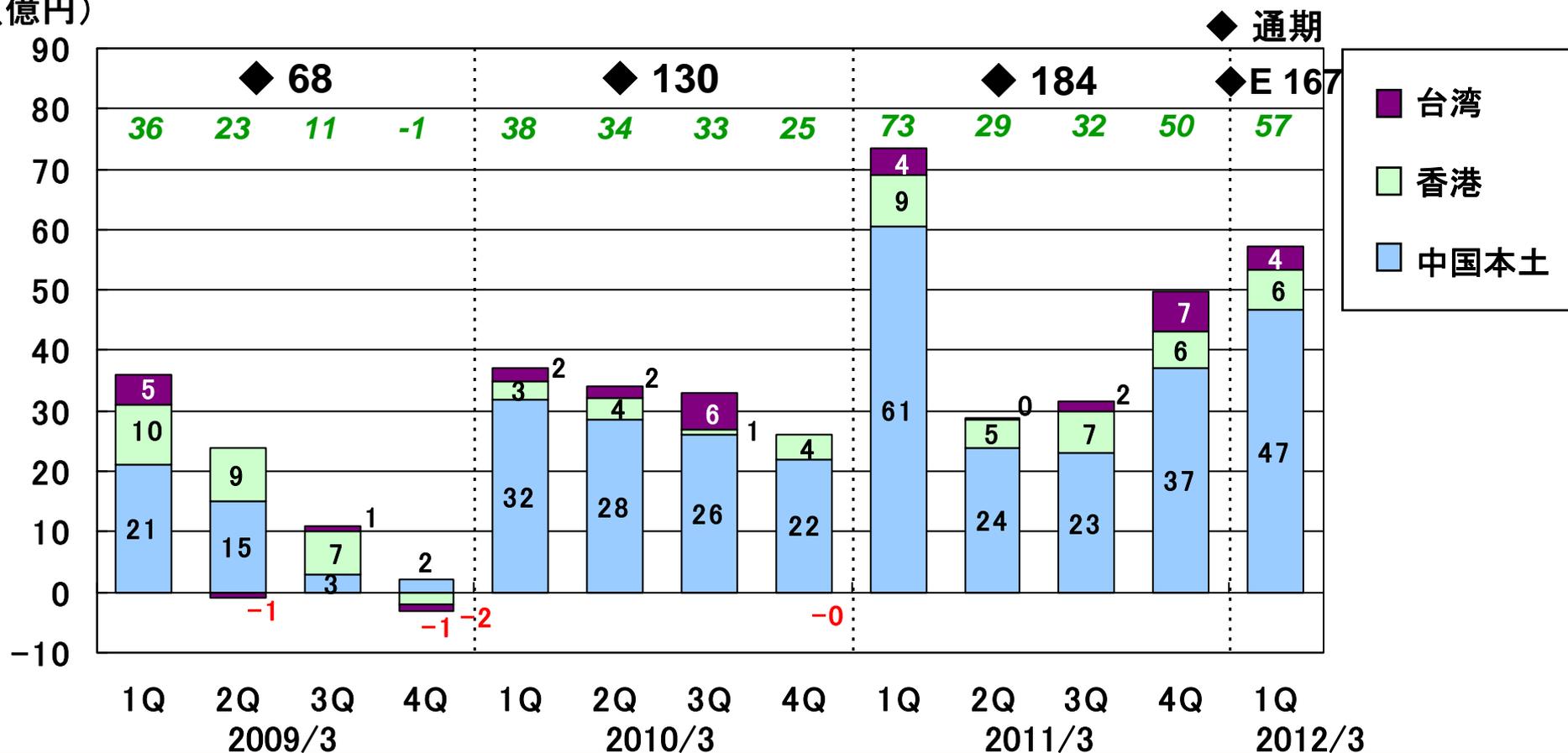
▶ 為替で優位にあるドイツメーカーとの競争激化により停滞

(million EUR)

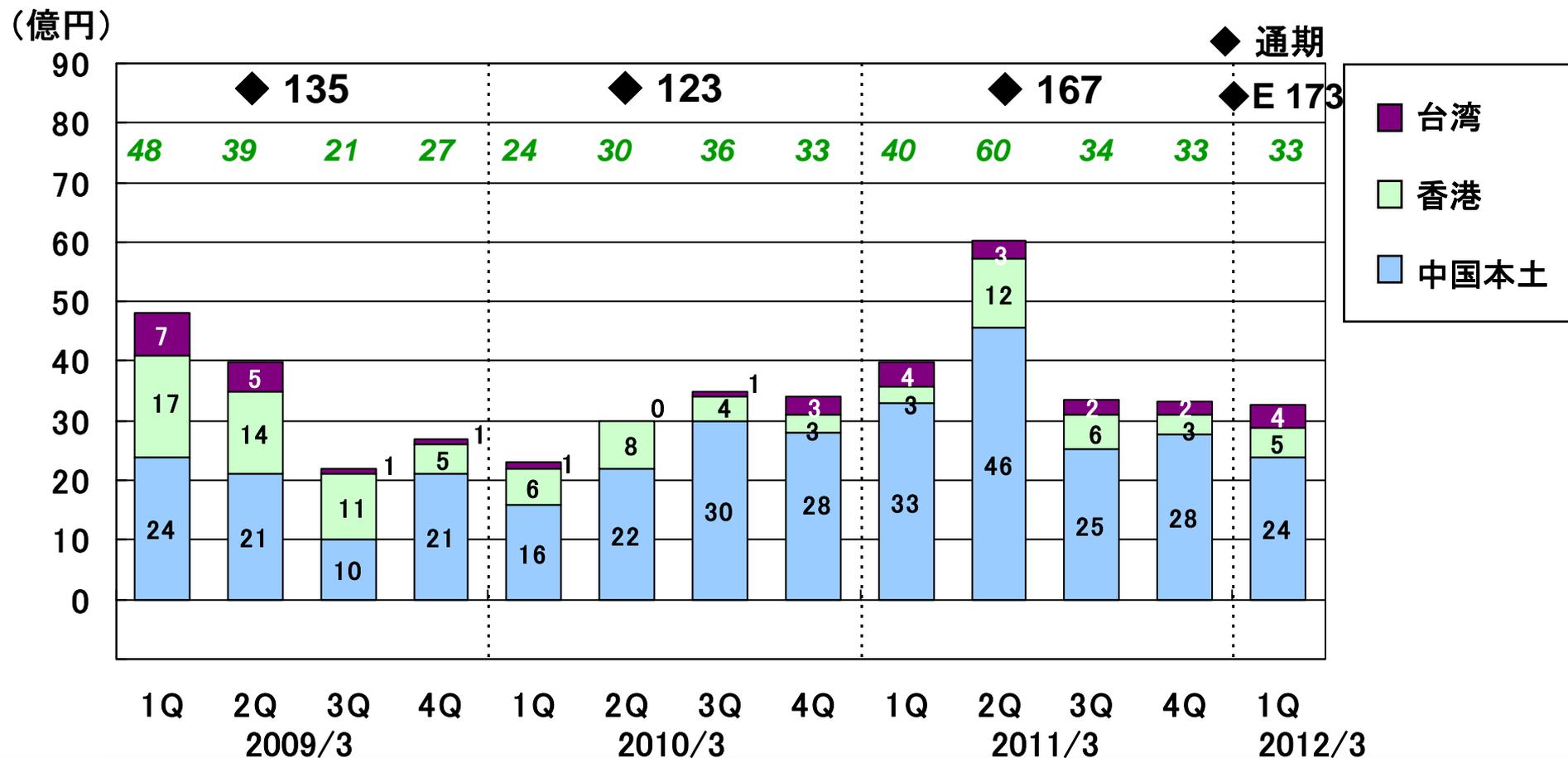


▶ 4月の展示会の商談状況を見る限り、  
内需型のユーザーを中心に印刷機械の需要は予想以上に強い

(億円)

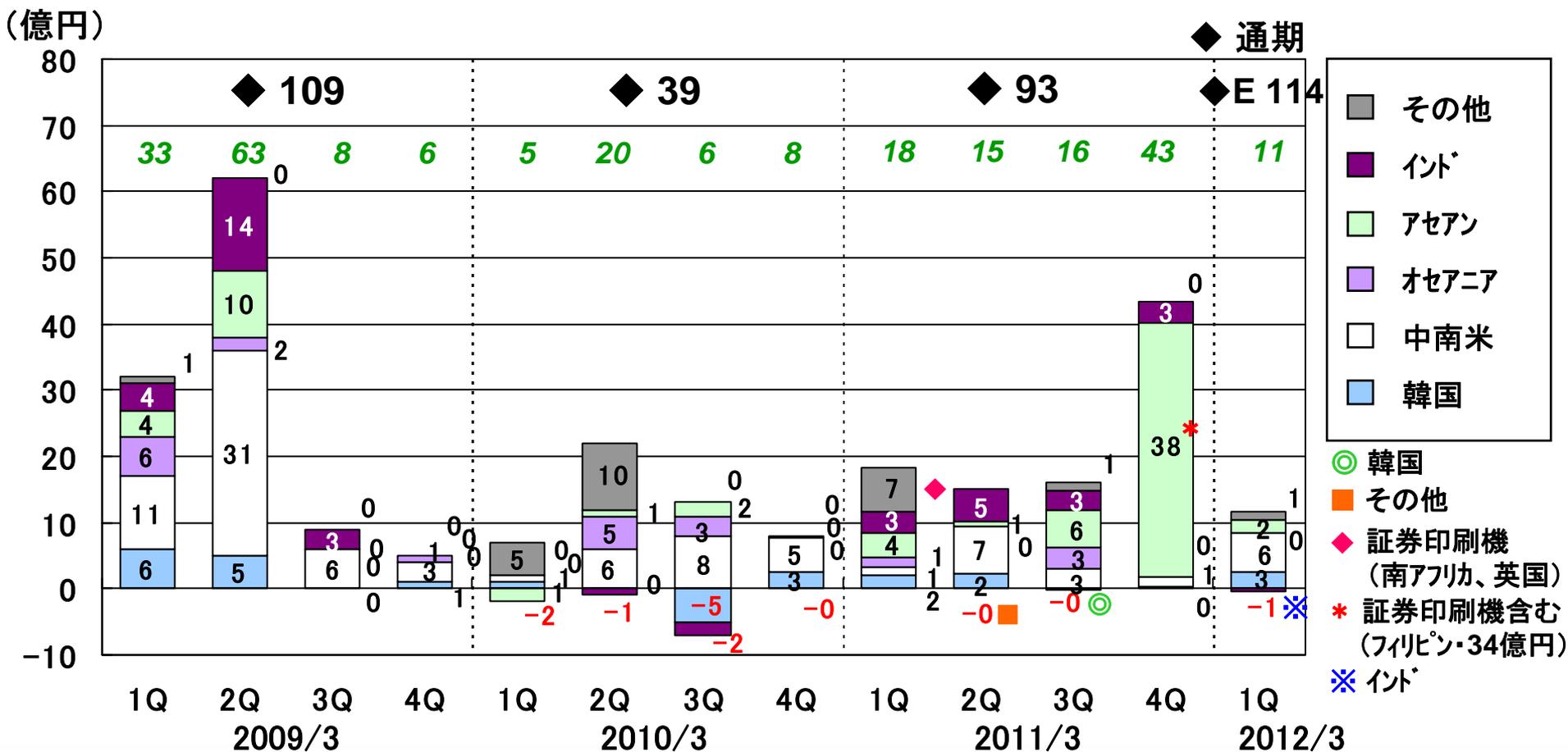


▶ 金融引き締めの影響により、受注後のファイナンス手続きの遅れが散見されてきた



# その他地域 受注高

- ▶ 前期4Qはフィリピン向けの証券印刷機の大型受注により大幅に伸長
- ▶ 今期1Qは中南米等のその他地域では円高、ファイナンス問題により低調



# その他地域 売上高

▶ 前期1Qで南アフリカ等への証券印刷機の大型売上があったことを除けば、  
今期1Qはほぼ横ばい

